

札幌稲穂だより



令和7年4月25日
第1号

北海道札幌稲穂高等支援学校

「令和7年度の学校スタートにあたって」

校長 澤田 崇史

手稲山のふもとにもようやく木々が芽吹き、春の訪れを実感できる季節となりました。

保護者の皆様並びに地域の皆様におかれましては、日頃から、本校の教育活動に対して、深いご理解とご協力をいただいておりますことに、心から感謝申し上げます。

さて、去る4月8日（火）に前期始業式、9日（水）に第15回入学式を行い、教育活動をスタートいたしました。入学式では、4学科27名の新入生が、期待にあふれた思いを胸に立派な姿で式に参加されていました。また、学習活動も本格的に始まり、緊張の中にも新たな環境で頑張ろうとする姿が垣間見えています。

ここで、新年度のスタートに当たり、今年度の学校の方針をお知らせします。今年度の方針を「生徒一人一人が主体的に学び、個々の伸長と将来を見通した指導の改善・充実を図る」としました。コロナウイルスによる感染対策が収束し、学校は、平常の活動に戻りました。一方世の中は大きく変わり、AI技術の進展や産業構造の変化等、学校の学習活動は大きな変更が求められています。そこで、これまでの学習を見直し、取り組みを整理しながら、生徒主体の学習活動に改善を図る必要があると考え、方針を定めました。

最後になりますが、この方針の実現に向けては、保護者・地域の皆様の協力が必要です。ぜひ、たくさんの御意見を頂戴しながら、よりよい学校づくりに努めていきますので、貴重な御意見を賜りますと幸いです。

保護者の皆様、そして地域の皆様、本年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。

「入学式を終えて」

1学年主任 奈良 亜衣

4月9日（水）に入学式が行われ、27名の新入生を迎えました。

札幌稲穂高等支援学校の生徒として初めての登校をしたその朝、自分の名前が付いた靴箱を探す様子や担任・副担任との初顔合わせでの少し緊張した表情など、入学式ならではの光景を目にすることができました。そんな瞬間に立ち会えて大変嬉しく感じました。

真新しい制服に身を包んで迎えた入学式では、担任から一人一人の名前が呼ばれました。しっかりと返事をして椅子から立ち上がる姿から、今後の学校生活への期待と意欲を感じました。

式後には初めての学年活動を行い、今の気持ちを聞いてみたり、今後の予定を説明したりしました。緊張感が漂っていた式中とは違い、少しリラックスした時間となりました。驚いたのは、反応がとても良かったことです。ちょっとした話にどよめきや笑いが自然に起こったりしていました。また、その時点で初めて会う仲間とちょっとした会話が始まっており、賑やかで楽しい学年になりそうな印象を持ちました。

本校は学年ごとに目標を設けており、1学年は「自己理解」「他者理解」、2学年は「自己受容」「他者受容」、そして3学年は「自己選択」「自己決定」と段階を経て生徒が成長していくことを目指しています。今年度の目標である「自己理解」に関しては、卒業後どのような仕事を選ぶのか、そのために何が必要なのか、進路を考えるうえで自分の強みや課題を正確に把握することが重要になります。日々の学習や行事など学校生活のなかで少しずつ「自分」に気付けるよう、サポートしていきたいと考えています。

3年間は長いようであっという間に過ぎていきます。失敗したり不安を抱えたりすることもあります。保護者様の見守りや励ましが大きな力になります。保護者様と学校が協力して支えていくことが不可欠だと考えております。何卒よろしくお願いいたします。



転入者あいさつ

北海道北斗高等支援学校から赴任しました、校長の澤田崇史と申します。札幌稲穂高等支援学校が開校したときに、何度か学校にお邪魔しており、当時から変わらない学校施設や生徒の活動に、勝手に懐かしさを感じながら毎日過ごしています。本校は、優しく明るい生徒が多く、穏やかな空気が流れている学校だと思っています。生徒の将来の夢や希望の実現に向け、教職員が一丸となって活発な教育活動に取り組んで参りますので、よろしくお願いいたします。

校長 澤田 崇史

夕張高等養護学校より着任しました池田功です。

札幌稲穂高等支援学校で11校目の勤務地となります。そのうち、特別支援学校での勤務は5校目となります。

前任の夕張はしんと雪が降る地域でしたが、手稲地区も大雪になることがあると思いますので、しっかり心得ておこうと思います。

始業式、入学式を終え、令和7年度の学校活動が始まっておりますが、生徒の皆さんは廊下で会った際には、元気よく挨拶をしてくれて、とても落ち着いた学校という印象を持っています。

校舎は年数を重ねておりますが、生徒の学習環境の充実を図るために、微力ではございますが尽力していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

事務長 池田 功

雨竜高等養護学校から着任しました佐伯正文です。

素敵な生徒さんに出会えてとてもうれしく、ワクワクしています。

これから生徒一人一人がそれぞれの夢を達成するために、思いやりある豊かな心を育て、持っている力や良さを発揮できるよう取り組みます。どうぞよろしくおねがいします。

佐伯 正文

おとなりの学校、小樽高等支援学校からきました田村美奈です。

1年生生産技術科の担任をさせていただくことになりました。教科は外国語、作業学習などを担当します。新しい環境で、心配や不安な気持ちでいっぱいだと思いますが、早くなれるようたくさんお話ししましょう。よろしくお願いいたします。

田村 美奈

今年から札幌稲穂高等支援学校に配属になりました田口海と申します。今年は生産技術科3学年の副担任を務めさせていただきます。学生時代は男子新体操をやっており、体を動かすことが好きです。特に柔軟、バク転、倒立などの専門的な運動が得意です。ちなみに球技はあまり得意ではありません。生徒の皆さんとの学校生活をとおしていろいろなことを一緒に学んでいけたらいいなと思っております。わからないことが多いですが、皆さんと楽しい学校生活を送れることを心より楽しみにしております。

田口 海

札幌あいの里高等支援学校から参りました水口律子です。

家庭総合科で作業学習を担当します。

生徒の皆さんの「がんばる気持ち」を大切に、一緒に悩み、一緒に喜びながら一歩ずつ前へ進めるよう活動していきたいと思っています。

よろしくお願いいたします。

水口 律子

3年ぶりに特別支援学校に戻ってきました。稲穂の生徒の皆さんの学習のお手伝いができることを楽しみにしています。校訓の夢・心・力を大切にしながら、生徒から学び、生徒と一緒に学び、生徒の成長のサポートができたと思っています。どうぞ、よろしくお願いいたします。

坂口 和彦

初めまして。3学年家庭総合科担任の藤田純子です。社会科を担当します。星置養護学校から来ました。山歩きが好きで、以前は三角山、藻岩山、手稲山などよく行きました。最近は熊が出るので近付けません。代わりに断捨離をしています。また、エコな生活を目指し、車は運転していません。夕方、星置駅に向かって小走りして帰っています。稲穂高等支援学校では、少人数の温かな校風を感じています。生徒の皆さんがとてもおだやかで優しいので、安心して働き始めることができました。一人一人の成長を支援していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

藤田 純子

札幌伏見支援学校から参りました事務主任の山田真由美です。

生徒の皆さんからの挨拶で元気に毎日を過ごしております。

今までの経験を活かし、札幌稲穂高等支援学校で多くのことを学んでいきたいと思っています。

どうぞよろしくおねがいします。

山田真由美